

開 会 式

開会式（みちのくホール） 14日（土）13：50～14：20

ご挨拶

日本音楽教育学会会長 権 藤 敦 子
弘前大学教育学部長 福 島 裕 敏
第54回大会実行委員長 今 田 匡 彦

招待講演

Exploring the Direction of Music Education
from the Perspective of Posthumanism 1
韓国音楽教育学会会長 Choi, Euna

大会実行委員会企画

音楽教育とウェルビーイング 一次世代に芸術が果たす役割を考える—

基調講演&シンポジウム（みちのくホール） 14日（土）14：30～16：30

基調講演

子どもと現代音楽 2
keynote speaker：作曲家・ピアニスト 三 宅 榛 名

シンポジウム

音楽教育とウェルビーイング 3
一次世代に芸術が果たす役割を考える—

パネリスト： 早稲田大学 小 沼 純 一
北海道教育大学 松 永 加也子
大阪公立大学 沼 田 里 衣
弘前大学 高 橋 憲 人
企画・司会： 弘前大学 今 田 匡 彦

常 任 理 事 会 企 画

プロジェクト研究（2階大教室）	15日（日）13：10～14：50	6
生活史の中の音楽と音楽教育Ⅱ		
Music in Life History and Music Education		
—子どもの音楽経験：世代を切り取る・世代をつなぐ—		
報告：2023年度プロジェクト研究チーム		
	港区立芝小学校	石 井 ゆきこ
	関西外国語大学	笹 野 恵理子
	学習院大学	嶋 田 由 美
	富山大学	多 賀 秀 紀
	広島大学	寺 内 大 輔
企画・進行：	滋賀大学	杉 江 淑 子

研 究 発 表（口頭発表）

研究発表A（202）	14日（土）9：30～13：00	
司会：石上則子（元東京学芸大学）・小畑千尋（文教大学）		
A-1	中学校音楽科における創作活動の一考察	7
	—中学校での実践を通して—	
	明星大学	荒 木 美 香
2	STEAM教育における芸術の役割を見据えた継続的なアウトリーチ授業Ⅰ	8
	—小学5年「待ちぼうけ」を題材にして—	
	東京福祉大学短期大学部	高 木 麻衣子
	荒川区立尾久西小学校	小 田 康 介
3	ティンカリングによる「祝典序曲」のオーケストレーション	9
	—第5学年におけるプログラミング言語Scratchによる鑑賞活動—	
	つくば市立荃崎第一小学校	飯 泉 正 人
4	音楽づくりにおけるイメージの関与について	10
	—小学校低学年の実践分析を通して—	
	岐阜市立鏡島小学校，岐阜大学大学院生	飯 沼 広 樹
5	思いやイメージを反映する表現活動に関する一考察	11
	—「ことば譜」を用いた音楽づくりを例に—	
	上田女子短期大学	今 井 香 織
6	音楽科授業における批評活動の位置づけ	12
	—中学校音楽科の教科書・指導書に着目して—	
	東洋大学	末 廣 杏 里

7	鑑賞教育と音楽療法的アプローチの融合について	13
	—鑑賞教育での言語活動と受容的音楽療法での言語的処理—	
	今治明德短期大学 十 河 治 幸	

研究発表B (203) 14日(土) 9:30~13:00

司会:野本由紀夫(玉川大学)・山下薫子(東京藝術大学)

B-1	高等学校芸術科音楽における総合芸術としてのオペラの鑑賞	14
	—前奏曲にある3つのモチーフと演劇的要素に着目して—	
	東京学芸大学大学院生 結 東 麻 紀	
2	ポピュラー音楽の鑑賞を通じた主体的・対話的で深い学びの授業実践	15
	—セットリストの作成, 相互鑑賞を通して—	
	守口市立庭窪中学校 稲 田 啓 人	
3	フィンランドの音楽科教育における「協働」	16
	—基礎教育の音楽科カリキュラムに着目して—	
	東京大学大学院生 原 田 恵	
4	郷土の音楽の導入と変遷	17
	—学習指導要領および戦後検定期以降の教科書から—	
	東京学芸大学大学院生 小 林 美季子	
5	演奏者にとってのヘルスリテラシー	18
	医療科学研究所 赤 池 美 紀	
	慶應義塾大学大学院生 田 中 朋 子	
6	フランクリンメソッド介入研究に関する文献レビュー	19
	—演奏者を対象とした身体教育における効果検証法の考案にむけて—	
	慶應義塾大学大学院生 田 中 朋 子	
	医療科学研究所 赤 池 美 紀	
	慶應義塾大学 藤 井 進 也	
7	日本歌曲を味わう鑑賞と表現の活動	20
	—「さくら横ちょう」を題材とした高等学校の実践—	
	東京学芸大学附属高等学校 居 城 勝 彦	

研究発表C (204) 14日(土) 9:30~13:00

司会:杉田政夫(福島大学)・鈴木慎一郎(鳥取大学)

C-1	近現代日本音楽教師群像の研究	21
	—1930年代の雑誌『学校音楽』掲載「学校音楽座談会記録」の分析から—	
	京都教育大学 檜 下 達 也	
2	音楽教材としての作歌作品の傾向について	22
	—『音楽新報』(1904-1907)掲載の作歌作品分析を通して—	
	愛知教育大学 國 府 華 子	
	尚綱大学短期大学部 森 みゆき	

3	石井漠の「子どもの舞踊」の現在の実態 ……………	23
	—秋田県のX小学校の取り組みに着目して—	
	エリザベト音楽大学大学院生 沖 中 春志郎	
4	吹奏楽と合唱の部活動における問題構造の分析 ……………	24
	—現象学の視座による記号論的考察—	
	弘前大学 清 水 稔	
5	文化芸術振興事業における「音楽への参加」とは何か ……………	25
	—学校巡回公演事業の取り組みを手がかりとして—	
	駒沢女子短期大学 松 本 哲 平	
6	「音楽科教育」と「言葉」の共存を模索する ……………	26
	弘前大学大学院生 西 野 亜 唯	
7	新制高等学校における男女共学化と校歌の制定 ……………	27
	—校歌の制定にみるジェンダー意識の表出—	
	日本学術振興会特別研究員 (PD) 須 田 珠 生	

研究発表D (302) 14日 (土) 9:30~13:00

司会：清水宏美 (玉川大学) ・瀧川淳 (国立音楽大学)

D-1	あなたにとって「音楽」とはどのような存在ですか。 ……………	28
	—指定保育士養成施設の短期大学1年生の回答から—	
	就実短期大学 山 下 世史佳	
2	聴覚・視覚等障がい者と共に楽しむ音楽・美術鑑賞プログラムの開発 (3) ……	29
	植草学園大学 高 木 夏奈子	
3	教員養成課程の学生における音楽リテラシーの実態 ……………	30
	—教員採用試験の過去問題・例題を通して—	
	帝京大学 田 崎 教 子	
4	小学校音楽教師の資質能力形成過程 ……………	31
	—X市の音楽教師の語りから—	
	奈良女子大学 藤 井 康 之	
	福山市立大学 古 山 典 子	
5	保育者養成におけるICTを活用した楽典・編曲指導の実践報告 ……………	32
	—音楽学習プラットフォームFlat for Educationを用いて—	
	目白大学 小 林 恭 子	
6	愛知県弥富市における学校外教育の合唱団の存在意義と課題 ……………	33
	—子ども・保護者・指導者・行政へのアンケート・インタビューを通して—	
	奈良女子大学大学院生 梅 田 由 佳	
7	音大生のメンタルヘルスに関する調査 ……………	34
	神戸大学大学院生 橋 澤 慧	

研究発表E (303) 14日(土) 9:30~13:00

司会: 味府美香(東京成徳大学)・村上康子(共立女子大学)

- E-1 ピアノ教育における〈イメージ〉や〈感情〉の弊害 …… 35
—ピアノレッスンにおける参与観察とインタビュー調査を通して—
弘前大学大学院生, ピティナ音楽研究所 石川 裕 貴
- 2 オンラインツールを利用した音楽学習の試みと課題 …… 36
—SYNCROOMを使用した合唱、合奏、ピアノ指導を通して—
静岡大学 石川 眞佐江
- 3 視線情報と打鍵情報を用いたピアノ演奏ミスの分析(2) …… 37
—学生の演奏ミスを中心とした高齢者との比較—
京都ノートルダム女子大学 古 庵 晶 子
公立はこだて未来大学 竹 川 佳 也
公立はこだて未来大学大学院生 能 登 楓
- 4 サウンドウォークによって浮かび上がるコミュニティ音楽 …… 38
弘前大学大学院生 三 村 咲
- 5 音楽科教員養成課程における箏のフレーズ創作 …… 39
—音色と奏法の関わりに着目した取り組み—
広島大学 伊 藤 真
- 6 保育者・小学校教員養成系大学1年生のリズム模奏力に関する研究 …… 40
—調査と実践をとおして—
比治山大学 緒 方 満
広島県立広島国泰寺高等学校 大 西 潤 一
アボアエンジニアリング 高 木 栄 次
広島大学名誉教授 吉 富 功 修
- 7 保育者は音楽的な実践力量をどのように形成していくのか(1) …… 41
—音楽の得意な保育者へのインタビュー調査をもとに—
高田短期大学 山 本 敦 子

研究発表F (1階大教室) 14日(土) 9:30~13:00

司会: 石井ゆきこ(港区立芝小学校)・小山英恵(東京学芸大学)

- F-1 教員養成大学における実践的な和声教育の取り組み …… 42
—「和声学」の授業を通して—
玉川大学 今 野 哲 也
- 2 福島県における民俗芸能と学校教育の連携に関する一考察 …… 43
NPO法人民俗芸能を継承するふくしまの会 山 崎 純 子
- 3 エジプト・日本学校(EJS)における音楽科教材の開発・実践 …… 44
弘前大学 小 田 直 弥
東京学芸大学 森 尻 有 貴
東京学芸大こども未来研究所 長 澤 佳奈子

4	音楽づくりの次なるキーワードとは —実践から見る現状と課題—	45
	文教大学 近藤真子 音楽之友社出版部『教育音楽』編集課 水谷早紀	
5	音楽教育における聴取と想起 —生態学的想起論による音の記述過程についての検討—	46
	北海道教育大学岩見沢校 金崎惣一	
6	小学校音楽科におけるAI作曲ツールを用いた学習モデルの構築 —自動作曲システム「CREEVO」による音楽づくりの活動を通して—	47
	戸田市立戸田東小学校 小梨貴弘	
7	音楽科におけるwell-beingの尺度開発に関する研究 —小中学生の尺度モデル構成・調査結果の分析を通して—	48
	山口大学 高橋雅子	

研究発表G（2階大教室） 14日（土）9：30～13：00

司会：駒久美子（千葉大学）・中嶋俊夫（横浜国立大学）

G-1	広東省における郷土の音楽の教材化 —日本の音楽科教育における郷土の音楽の学習を参考に—	49
	国立音楽大学大学院生 LI YINGYAO	
2	即興演奏教育における創造性を育むための環境と働きかけ —音楽教室個人レッスンでの取り組みをとおして—	50
	神戸大学大学院生 三宅珠穂	
3	子どもと関わる体験的学習が学生の保育観に与える影響 —保育者養成課程の学生を対象に—	51
	仙台青葉学院短期大学 山辺未希 神戸大学 長谷川諒	
4	音楽教育における「伝統」観の再考（2） —日本・ブータン交流授業で見られた伝統音楽の捉え方—	52
	金城学院大学 黒田清子 新潟大学 伊野義博 広島大学 権藤敦子	
5	誰もが参加可能な音楽ワークショップの開発 —芸術表現システムとしての「路線図作曲」—	53
	京都教育大学 増田真結 京都教育大学 檜下達也	
6	共に音楽する身体 of 構築 —能動的な行為原理としての「間」に着目して—	54
	山梨学院短期大学 田邊裕子	

7	ポピュラー音楽の創作現場におけるミュージシャンの創造性 —ギタリストへのインタビュー調査を通して—	55
		宮城教育大学 木下和彦 淑徳大学 中村昭彦

研究発表H（中教室） 14日（土）9：30～13：00

司会：早川倫子（岡山大学）・高須裕美（名古屋短期大学）

H-1	戦後保育と「わらべうたによる音楽教育」(1) —白梅学園大学附属白梅幼稚園における導入と展開過程を事例として—	56
		白梅学園短期大学 長井覚子
2	小林宗作の幼児・児童を対象とした総合リズム教育の特徴 —私立成城学園における実践に着目して—	57
		エリザベト音楽大学大学院生 鹿瀬島夏子
3	音楽教育における幼児のためのオペレッタの教材性	58
		目白大学 川見夕貴
4	ハンガリーの幼児音楽教育における「mondókák」 —『フローリの本』（1839）を通して—	59
		常磐会短期大学 小谷朋子
5	創造性育成のための協同的合奏遊びの検討 —5歳児の音のイメージをめぐって—	60
		大阪芸術大学 津田奈保子
6	幼児のモノを叩く行動から構築される「音楽の場」の検討	61
		相模女子大学 渡邊佐恵子 東京学芸大学 水崎誠
7	未知の楽器に対する5歳児の探求 —ドレミパイプを用いたグループ活動をもとに—	62
		東京学芸大学 水崎誠

研究発表I（202） 15日（日）9：00～12：00

司会：時得紀子（上越教育大学）・三村真弓（エリザベト音楽大学）

I-1	楽譜の解釈に関する信念が学習に及ぼす影響 —解釈観の質問紙作成と音大生を対象にした調査の実施—	63
		東京大学大学院生 藤本茉里恵
2	音楽科鑑賞授業における学習者のメタ認知 —メタ認知的知識と鑑賞中の思考に着目して—	64
		広島大学大学院生 田口有志
3	演奏者と聴衆の間の同期 —制御機構に注目して—	65
		愛知東邦大学 水野伸子 電気通信大学 津崎実

4	絶対音感保有者の音高の言語的符号化 ……………	66
	—その有用性と課題についての検討—	
	明治学院大学 水戸博道	
5	音楽と身体の動きに関する印象評定研究 ……………	67
	—「形式にとらわれない自由な身体的表現」は音楽を表現し得るのか—	
	九州龍谷短期大学 藤井菜摘	
6	Music and Children's Emotions in The Classroom: ……………	68
	A Review of Literature	
	The University of the West Indies Akombo, David	

研究発表J (203) 15日(日) 9:00~12:00

司会: 疇地希美(同朋大学)・水崎誠(東京学芸大学)

J-1	子供の音楽表現を引き出す新人保育者のアプローチ ……………	69
	東京福祉大学短期大学部 本野洋子	
	聖隷クリストファー大学 二宮貴之	
2	幼児の音楽的な創造へと向かうプロセスについて ……………	70
	—模倣活動が引き出す即興的な活動の積み重ねを手掛かりに—	
	兵庫教育大学大学院生 廣畑まゆ美	
3	幼児教育におけるICTを活用した音楽表現活動の課題と展望 ……………	71
	—幼児教育の現場におけるICT活用の実践—	
	山陽学園短期大学 桐岡亜由美	
4	保育・教育をとおして幼児はどのように音楽を学ぶか ……………	72
	—保育所でのフィールドワークをとおして—	
	広島大学大学院生 武島千明	
5	保育者の音環境に関する意識と子どもの音楽的発達の相関 ……………	73
	—モンテッソーリ教育のA幼稚園におけるフィールドワークを通して—	
	エリザベト音楽大学 藤尾かの子	
6	幼児の創造的な音楽表現活動に関する研究 ……………	74
	—我が国における実践研究の動向—	
	名古屋市立大学大学院生 南谷悠子	

研究発表K (204) 15日(日) 9:00~12:00

司会: 國府華子(愛知教育大学)・藤井康之(奈良女子大学)

K-1	ピアノ奏法の著述内容の変化 ……………	75
	—練習曲から身体の使い方への注目へ—	
	お茶の水女子大学大学院生 山田真理子	
2	戦後期における八十田歳雄の音楽教育思想と実践の特質 ……………	76
	—読譜指導に着目して—	
	奈良女子大学大学院生 徳田典子	

3	戦後音楽科教育の変遷における文化概念の検討	77
	東京学芸大学 小山 英 恵	
4	音楽教育哲学は新自由主義にどう対抗するのか	78
	—社会正義の理論的展開—	
	福島大学 杉 田 政 夫	
5	『秋田県総合郷土研究』における新民謡	79
	鳥取大学 鈴 木 慎一朗	
6	20世紀前半の日本における和声学の研究と教育	80
	—信時潔と下総皖一の著述に基づく一考察—	
	東京藝術大学ほか 仲 辻 真 帆	

研究発表L (302) 15日(日) 9:00~12:30

司会: 根津知佳子(日本女子大学)・石川眞佐江(静岡大学)

L-1	特別支援学校音楽授業の実態と課題	81
	—2023特別支援学校音楽授業アンケート調査から—	
	花園大学 岡 ひろみ	
2	特別支援学級の生徒による即興演奏の多様化とそのプロセス	82
	—教師の環境支援に注目して—	
	磐田市立城山中学校 寺 田 茜	
3	知的障害児対象の音楽科教育に関する研究	83
	—集団音楽活動における他者との関わり合いに焦点を当てて—	
	神戸大学大学院生 岩 井 夏 葵	
4	視覚障害者のピアノ学習に見る演奏表現の探究のあり方	84
	—演奏に関わるイメージや感覚とその共有に着目した事例分析を通して—	
	東京藝術大学大学院生 藤 吉 乙 羽	
5	一本指のピアノによる音楽表現の探求	85
	—肢体不自由特別支援学校の卒業生とプロ奏者の共演による演奏活動を中心に—	
	東京大学大学院生, ルーテル学院大学 永 杉 理 恵	
6	児童同士の関わりによる音楽表現の広がり	86
	—特別支援学級における音楽づくりの活動を通して—	
	帝京大学 目 戸 郁 衣	
	流山市立西初石小学校 浅 間 里 華	
7	ケイパビリティ・アプローチとサウンド・エデュケーション	87
	—聴覚障害児の実践から2つの親和性を探る—	
	和洋女子大学 外 崎 純 恵	

研究発表M (303) 15日(日) 9:00~12:00

司会:伊藤真(広島大学)・伊野義博(新潟大学)

- M-1 The Role and Tasks of Music Education for Atomized Self
in the Hyper-Connected Era: 88
Focusing on the Ethics of Caring
Jeonju National University of Education Jin Kyong Choi
- 2 The Establishment of "Western Music" as a Subject
in Sri Lankan National Curriculum: 89
Through Semi-Structured Interviews
Research Student, Hiroshima University Kalani Rangani
- 3 中国音楽科における子どもの主体的な学びとその変容を捉える 90
—聴く活動を重視した授業の分析を通して—
愛知教育大学大学院生 劉 宇 超
- 4 アウトリーチの実践〜地域貢献推進経費によるプロジェクト〜 91
—地域文化・へき地教育等との関わりの実践例—
北海道教育大学岩見沢校 二 宮 英美歌
- 5 イタリアの学校と社会で音楽によるインクルージョンを推進する
楽器演奏の指導法について 92
—中学校音楽コースとインクルーシブ・オーケストラ“Esagramma”の創意と実践—
横浜国立大学 中 嶋 俊 夫
- 6 英国オペラ劇場の音楽教育部門の成立過程 93
—教育思想と政治的要因を中心に—
津田塾大学 大 野 はな恵

研究発表N (1階大教室) 15日(日) 9:00~12:00

司会:檜下達也(京都教育大学)・古山典子(福山市立大学)

- N-1 ルーブリックによる自己調整学習を目指した声楽の授業構築に向けて(3) .. 94
—グループ学修における自己効力感と自己調整学習方略の検証—
柴田学園大学 諏 訪 才 子
- 2 さまざまな動画再生技術が音楽鑑賞に与える教育効果の検証 95
国立音楽大学 瀧 川 淳
- 3 プログラミング教育のためのWebアプリケーション《テクミュ》の改良 96
—操作記録機能の追加とその教育的意義の検討—
盛岡大学 長 山 弘
- 4 緊張がピアノ演奏者の上肢動作に与える影響について 97
—2台のXbox One Kinectによる計測手法を用いて—
新潟大学大学院生 三ッ倉 光 大
- 5 AI時代に求められる音楽教育における新たな感性とは 98
信州大学 齊 藤 忠 彦

- 6 「聴こえの違い」に焦点を当てるオンライン音楽学習教材の開発 …… 99
 福知山公立大学 橋田 光代

研究発表O (中教室) 15日 (日) 9:00~12:00

司会: 高見仁志 (佛教大学) ・高橋雅子 (山口大学)

- O-1 小学校音楽科における端末を活用した授業についての考察 …… 100
 —eポートフォリオを活用した授業デザインの効果—
 常葉大学 山口 亮介
- 2 イギリスの就学前・初等音楽カリキュラムにおける技能と遊びの融合 …… 101
 —2021年改訂版音楽教科書を対象として—
 神戸女子短期大学 小松原 祥子
- 3 中学生の相互行為に基づく変容的学習 …… 102
 —コロナ禍における合唱体験から—
 実践女子大学 小坂 光
- 4 小学校音楽科におけるコダーイアアプローチを取り入れた指導の成果と課題 … 103
 —2年生を対象として—
 須賀の森学園西淡路小学校 土井 那帆子
 実践女子大学 小坂 光
 東北大学大学院生 八木 美華
 東京インターハイスクール, 郁文館夢学園
 中・高等学校・グローバル高等学校 鈴木 太一
- 5 地域のわらべうたや民俗芸能と音楽教育 …… 104
 —福島県会津地方の「虫送り」を例に—
 福島県会津美里町立宮川小学校 目黒 稚子
- 6 経験を資源とする成人の音楽学習に関するアクションリサーチ …… 105
 —昔遊びの可能性と実践上の課題—
 東北大学大学院生 八木 美華

研究発表 (ポスター発表)

研究発表P (304) 14日 (土) 11:00~12:00

座長: 大澤智恵 (武庫川女子大学) ・塚原建太 (琉球大学)

- P-1 生徒主体で表現を工夫する合唱活動の検討 …… 106
 —パート練習において教員の手立てに着目して—
 宮城教育大学大学院生 早坂 奈々
- 2 保育者養成校における音楽表現に関する一考察 (3) …… 107
 —創作音楽劇「おかあさん おめでとう」の事例検討を通して—
 園田学園女子大学 中野 圭子

3	子どもの居場所づくりと演奏家の創意工夫	108
	—子ども食堂での実践を事例として—	
	東京藝術大学 船越理恵	
	東京藝術大学 萩原史織	
4	考古学と音楽教育の連携3	109
	—「教科教育法音楽」等の教科横断的な実践から—	
	國學院大學栃木短期大学 早川富美子	
	国立歴史民俗博物館 中村耕作	
5	保育士・教員養成課程のための弾き歌いの教材開発に関する研究	110
	—ピアノ初心者の学習法と指導法に焦点をあてて—	
	東京成徳大学 長野麻子	
	東京成徳大学 味府美香	
	川村学園女子大学 古山律子	
	和洋女子大学 甲斐万里子	
6	自動二輪車の振動が管楽器ピストン部に及ぼす影響に関する研究	111
	摂南大学 釣本聖司	
7	自身の声質による模範練習の音程感覚についての有効性	112
	高崎健康福祉大学 佐藤和貴	
	東北福祉大学 渡会純一	
	東北大学 佐藤克美	
8	作詞作曲Webアプリ「まもりうたつくろ」による音楽創作活動の実践と考察	113
	DA/LEDA 松岡久仁子	
	DA/LEDA 齋藤篤	

研究発表Q (304) 15日(日) 11:00~12:00

座長:長井覚子(白梅学園短期大学)・市川 恵(東京藝術大学)

Q-1	音楽大学は誰を選抜するのか	114
	—入学者選抜試験内容の変遷と大学間の差異に着目して—	
	名古屋大学大学院生 松川亜矢	
2	乳幼児期の音楽的経験が子どもの認知能力に及ぼす影響	115
	—育児における音楽的環境に着目して—	
	北海道文教大学 小椋佐奈衣	
3	中等教育における音楽活動と個人の音楽的素養についての関係	116
	仙台大学 山口恭正	
	仙台大学 橋本智明	
4	幼稚園教育実習で求められる音楽表現技術について	117
	—実習後のアンケート調査を通して—	
	同志社女子大学 中村 愛	

5	音楽表現に対する保育者と小学校教諭の視点と潜在的な価値観 ……	118
	—「豊か」を焦点とした相違点・共通点—	
	愛知学泉大学 渡 辺 ユリナ	
6	色を聞く、音符に触れる ……	119
	—ヴァイオリン啓発コースに組み込まれた多感覚教育に関する研究—	
	国立台北藝術大學大学院生 馬 悦 童	
7	小学校音楽科に運動的要素を取り入れることの意義 ……	120
	—陸上運動系を取り入れたリズム学習—	
	幼保連携型認定こども園名古屋柳城短期大学附属豊田幼稚園 深 松 佳 範	
8	“動きのある”教材としての絵譜の可能性を探る ……	121
	—絵譜の形状に焦点をあてて—	
	佛教大学 白 井 奈 緒 広島大学大学院生 尾 瀧 千 咲	

共 同 企 画

共同企画Ⅰ	デモンストレーション (202)	15日 (日) 13:10~14:40 ……	122
	音や音楽を題材にしたSTEAM教育に用いる教材の制作		
	—「リバーシブル木琴チャイム」を中心に—		
	北海道教育大学旭川校 芳 賀 均		
	アクトエデュケーション 永 尾 隼		
	北海道教育大学釧路校 森 健一郎		
	浜頓別町立浜頓別小学校 芳 賀 真 衣		
	北海道教育大学旭川校学部生 盛 田 祥 史		
共同企画Ⅱ	パネルディスカッション (1階大教室)	15日 (日) 13:10~14:40 ……	123
	現行学習指導要領を総括する		
	—「知覚」と「感受」について—		
	信州大学 齊 藤 忠 彦		
	国立音楽大学 津 田 正 之		
	佛教大学 高 見 仁 志		
	宮崎大学 菅 裕		

共同企画Ⅲ パネルディスカッション (203) 15日(日) 13:10~14:40 …………… 124
「自律的に音楽する教員」を育む養成課程試論

宮城教育大学 木下和彦
東京大学大学院生 藤本茉里恵
淑徳大学 中村昭彦
神戸大学 長谷川 諒

共同企画Ⅳ ラウンドテーブル (中教室) 15日(日) 13:10~14:40 …………… 125
音楽ゲーム再考
—手拍子まわしの広がり—

千葉大学 駒 久美子
日本女子大学名誉教授 坪能由紀子
足立区立足立入谷小学校 坂野みどり
東京都立鹿本学園 山本恵美
東京成徳大学 味府美香
帝京大学 目戸郁衣

共同企画Ⅴ ラウンドテーブル (302) 15日(日) 13:10~14:40 …………… 126
音楽研究手法としてのオートエスノグラフィー
—フィンランド・シベリウスアカデミー大学院芸術分野博士課程の研究動向—

聖徳大学・昭和女子大学 阿波祐子
シベリウスアカデミー Anu Lampela
シベリウスアカデミー大学院生 Reetta Näätänen
川村学園女子大学名誉教授 尾見敦子

共同企画Ⅵ ラウンドテーブル (303) 15日(日) 13:10~14:40 …………… 127
教員養成大学における「諸民族の音楽」の授業を考える
—教員が、児童・生徒と共に世界の音・音楽・音楽文化と親しむために—

玉川大学 清水宏美
玉川大学 坂田 晶
玉川大学 小林史子

共同企画Ⅶ ラウンドテーブル (中教室) 15日(日) 15:00~16:30 …………… 128
学校教育における音楽教育の役割と意義 その3
—ペンタトニックが果たす役割の再考をとおして—

日本女子大学名誉教授 坪能由紀子
エリザベト音楽大学 三村真弓
東京学芸大学名誉教授 井口 太
洗足学園音楽大学 森重行敏
高知大学 金 奎道

共同企画Ⅷ ラウンドテーブル …………… 129
(創立50周年記念会館2階会議室2) 14日(土) 9:30~11:00

音楽思考の可視化を考える(2)
—子どもの思考を育む授業の展開—

文教大学 近藤 真子
淑徳大学 熊倉 佐和子
京都教育大学附属桃山小学校 高橋 詩穂
筑波大学附属小学校 平野 次郎
熊本市教育委員会事務局教育総務部教育改革推進課 中島 千晴

共同企画Ⅸ ラウンドテーブル(302) 15日(日) 15:00~16:30 …………… 130

「身体知」としての音楽の学びの可能性
—知識・技能の「身体化」あるいは有機的な指導の方法をめぐって—

横浜国立大学 伊藤 裕来
横浜国立大学 森野 かおり
横浜国立大学 金光 真理子

共同企画Ⅹ ラウンドテーブル(203) 15日(日) 15:00~16:30 …………… 131

音楽的社会化の展望
—子どもの音楽的発達を捉える思考枠組をめぐって—

聖心女子大学 今川 恭子
東京藝術大学 市川 恵
共栄大学 伊原 小百合
白梅学園短期大学 長井 覚子
京都大学 高田 明

共同企画Ⅺ ラウンドテーブル(2階大教室) 15日(日) 15:00~16:30 …………… 132

子どもたちによるオンガクの創生を写し取る
—インクルーシブな音楽実践の評価について—

弘前大学 今田 匡彦
琉球大学 塚原 健太
青森明の星短期大学 千葉 修平
弘前大学教育学部附属特別支援学校 小枝 洋平

共同企画Ⅻ ラウンドテーブル(202) 15日(日) 15:00~16:00 …………… 133

小学校教員養成課程「音楽科指導法」に関する情報交換しゃべり場

明星大学 阪井 恵
共立女子大学 村上 康子
植草学園大学 高木 夏奈子

共同企画XIII ラウンドテーブル (303) 15日 (日) 15:00~16:30 134

音楽科の授業を再構築するコダーイ・アプローチの実践

—音楽の知識・技能の学びの連続性と〔共通事項〕の構造化—

川村学園女子大学名誉教授 尾 見 敦 子
埼玉学園大学 山 本 幸 正
東京都公立小学校 北 見 響
金城大学 枝 村 美 夏

共同企画XIV ワークショップ (1階大教室) 15日 (日) 15:00~16:30 135

共生を具現化するミュージッキングの展開

—エリックカール作『うたがみえるきこえるよ』を題材としたワークショップ—

武庫川女子大学 壽 谷 静 香
横浜国立大学 有 元 典 文
岡山県立大学 児 玉 太 一
北海道教育大学旭川校 芳 賀 均
浜頓別町立浜頓別小学校 芳 賀 真 衣
岡山県立大学 安久津 太 一

院 生 フ ォ ー ラ ム

院生フォーラム (2階大教室) 15日 (日) 11:00~12:00 136

共生社会の音楽教育実践を考える

司会進行: 弘前大学大学院生 三 村 咲
弘前大学大学院生 西 野 亜 唯
大会実行委員担当者: 弘前大学 高 橋 憲 人
駒沢女子短期大学 松 本 哲 平
青森明の星短期大学 千 葉 修 平